

2024年2月27日

各位

会社名 富士レビオホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 石川 剛生全自動化学発光酵素免疫測定システム「ルミパルス® L2400」専用試薬
「ルミパルスプレスト® iTACT® シクロスポリン」発売について

当社の完全子会社である富士レビオ株式会社（代表取締役社長：藤田 健、本社：東京都港区、以下「富士レビオ」）は、このたび、体外診断用医薬品「ルミパルスプレスト iTACT シクロスポリン」（以下、「本試薬」）の販売を開始しますのでお知らせします。本試薬は、全自動化学発光酵素免疫測定システム「ルミパルス L2400」（以下、「ルミパルス」）の専用試薬で、主に臓器移植患者に投与する免疫抑制剤であるシクロスポリンの血中濃度測定に使用されます。

シクロスポリンなどの免疫抑制剤は、投与後、主として赤血球中に多く分布するため、血中濃度測定には全血※1 検体が用いられますが、これら薬剤の血中濃度を測定する既存試薬の多くは、手作業を要する全血検体の前処理が必要であるため、効率的な検査業務の妨げとなっています。本試薬は、富士レビオの検体前処理技術（iTACT：immunoassay for Total Antigen including Complex via preTreatment）を活用することにより、検体の前処理工程を自動的に実施した上でシクロスポリンの血中濃度を測定するため、検査の効率化や測定結果報告時間の短縮に寄与するなど、臓器移植医療において幅広い貢献が期待できます。

富士レビオグループは、iTACT を応用した製品としてこれまで「ルミパルスプレスト iTACT Tg」※2、「ルミパルスプレスト iTACT HBcrAg」および、本試薬と同様に免疫抑制剤タクロリムスの血中濃度測定を全自動で実施できる「ルミパルスプレスト iTACT タクロリムス」※3 を販売しております。今後も iTACT シリーズのラインアップを強化してまいります。

※1 血球を分離していない、全ての成分を含んだ血液。赤血球等の血液中の細胞についての検査等に用いられる。

※2 [2020/01/30 付プレスリリース「ルミパルス®専用試薬『ルミパルスプレスト iTACT Tg』発売のお知らせ」](#)

※3 [2022/04/21 付プレスリリース「全自動化学発光酵素免疫測定システム「ルミパルス® L2400」専用試薬「ルミパルスプレスト iTACT® タクロリムス」発売について」](#)

以上

【本件に関してのお問い合わせ先】

<メディア関連の方>

広報/サステナビリティ部 広報課 TEL：03-6279-0884 e-mail：pr@hugp.com

<投資家・アナリストの方>

IR/SR 部 TEL：03-6279-0926 e-mail：ir@hugp.com